



抱っこバンドパパのお腹に眠る児よ  
あぶあぶと喃語じんわり泣けてくる  
久々の癒しわたしのボブ・ディラン  
老いたるや少し熟成してきたか  
習うより慣れよりハビリいい汗だ  
音信の途絶えあなたが消えていく

岩国市

上村 夢香

車窓からちらり一瞬姫路城  
十二年ぶりようやく逢えたお手紙に  
譲られて思わずはつとわが姿  
まだ八合目頂上はすぐそこなのに  
逢いたくてピカソシヤガール青の旅

福山市

酒井 日出夫

朝食を美味しく食べて箸を置く  
我が妻は世界の中に一人いる  
今日と言う日を話し合う散歩道  
窓際のカーネーションが母想う  
故郷を友に案内気が弾む

福山市

石田 絹代

抜かないで私が愛でる草たちです  
お世話されてばかりどうしましょう  
令和五の夏を見逃さないように  
誰のこと言いたいほどの年となる  
わからない明日の計画たてている

呉市 増野 臣子

岩出市 高良 侑未

高齢者あつそうか私のことか  
こんなはずじゃなかった垂直とび  
会話なくテレビをつけて夫といる  
孫二十歳まだすうたんと呼んでしま

さいたま市

星野 育子

朝露のバラが眩しい五月晴れ  
微笑みながらモナリザは五百歳  
十八歳児童手当と選挙権  
北のJアラートに成す術も無く  
観光地訛は消えて外国語

広島市

長谷川 穂美

黄金週間母の出番だ腕まくり  
接戦の延長カープ手には汗  
Gセブン広島忌からまず一歩  
祝宴に孫子ひ孫に義母も笑む  
柳誌には知らない父の影見えて  
気の太さと血管は反比例

上尾市

中村 伸子

名人と言うには若きその姿  
母の日にお菓子着くよというライン  
珈琲の準備しながら待つお菓子  
夫の見舞いに母の日の菓子持って行く  
夫入院トマトの切れが悪くなり  
疫病神みたいな解説者がいるの

ドローンから緑豊かな我が実家  
故郷で米寿お祝いツツジ苗  
故郷の茶の間にぎやか叔母家族  
お土産の地域羊かん食べ比べ  
筆談も我が親兄弟歳重ね

総社市

小塚 未希

笑顔でねマスク外せる時を待つ  
口癖は今からしようと思つてた  
風邪を引くしばらく寝込んでみたいもの  
怒つても堪えない次女に苦戦する  
時止まるスマホあるから大丈夫

東広島市

和泉 歩美

今元氣それが一番五月晴れ  
遠くいる孫子に会えた十七回忌  
揉めた事さえ懐かし二人旅  
両眉がピツタリ描け今日良き日  
葉桜へ友とはじけて笑いあい

竹原市

若年 幸子

竹原市

元吉 慶子

父母兄妹逢えただろわか蝶が舞う  
価値観のどこか似ていて分かち合う  
幸せは若葉の風と住む田舎  
溝掃除老いが追い討ちかけて来る  
嫁に感謝お供え気付く娘に育ち  
亡夫の夢話せば友も鉦を打つ

竹原市

楠 貞子

今日と云うおだやかな日を感じて  
迷惑をかけて生きて居る私  
若い人の意見素直に聞いておく  
祖父の写真セピア色でも大切に  
昭和は昔話だと笑う  
歩けない私に長い日が終り

竹原市

松田 栄香

いただきます一日三度箸を持つ  
手際良く料理脳への活性化  
土となら会話がつきぬぬれ軍手  
人生のドラマ私が主役です  
不在でも存在感の亡夫の席

竹原市

田中 敬子

母の日よ母の墓石の字も薄れ  
満点はいらない楽に生きてます  
花束に誓うた平和G7  
コーヒーはブラック雨雨雨に喝  
ヒロシマの海は風ですG7

竹原市

菅 弘子

半夏生待つ楽しみの草筆り  
毎朝のお口の体操経を読む  
五ミリの雑草律儀に咲かす花  
核廃絶適える平和G7  
資料館のメッセージ各国の思い

竹原市 國兼 千代美

豆スープ栄養たっぷり深い色  
ピカソ展みどりいっぱい風いっぱい  
町並みで人形供養なさるとか

一歳のはにかむようなハイタツチ  
無職でも今日行くところあるわたし  
マスク取るルージュ忘れてしまいます

竹原市 古谷 節夫

学ぶことまだまだ有るぞ八十路生き  
直球を決め球として年重ね

妥協癖しつかりつけて生き延びる  
冷や酒をあおり崩れる鬼の面

竹原市 栄谷 白狐

アリガトウ自分を褒めてウマイ酒  
いつの日かわたし一人になる怖さ

雨の日が僕はきらいでなかったな  
G7岸田さんには晴れ舞台

竹原市 土井 輝恵

美しい棚田も過疎に追いやられ  
おはようの声がうれしい島の子ら  
朝ドラよ酒蔵シーンなつかしや  
「イナイイナイバア」ケタケタ笑う君が好き

冷凍庫の残りで済ます夫の留守  
職を持つ娘バタバタ日帰りで  
二年ぶり顔観ただけの里帰り

竹原市 河崎 厚子

折り鶴が聴いた感じた広島サミット  
植樹した被爆さくらよ永久に咲け

庭中に花を咲かせて友米寿  
食料危機イモ植える日を考える

四代を繋いだ田畑宙に浮く  
ネット検索して今日もキッチンに立つ

竹原市 古田 比呂子

紫陽花の幸せ雨とかたつむり  
そよ風と梅雨の晴れ間に散歩する

脳トレに挑む梅雨空の一日  
献立が思いつかない日の鬱よ

竹原市 山本 京子

自転車でこの坂行ける脚力よ  
芋畑整え雨の予報待つ

さらきらの海に船行く風は初夏  
空豆友に送るパスタソース作るらし

竹原市 金沢 節生

扇風機今年の付き合い長そうだ  
爽やかな風梅雨の合間の幸せ

勇氣とは若さを示す男意気  
頑張れと元氣と勇氣心意気  
投句せよ老いてもボケてもチャンスある  
良い話チャンスを逃すことはない  
頑張れば粘る男の見せ所

竹原市 向原 道子

梅雨空一瞬の光心映える  
年老いて勇氣がいるよ何事も

待ってたよ今年も咲いた季節花  
新井さん交流戦はチャンスだよ

竹原市 今井 初音

八十八健康自慢の同窓会  
保育園のお迎え役はおばあちゃん

新井監督ファンはどこでもついてゆく  
どこまでも真っ赤なファンカーブ愛

竹原市 岩本 笑子

ゆっくりと歩こう私はまだ若い  
後からついて来ないでしゃぼん玉

春が来たんだね満月の下で  
からくりがあつてもよろしマンガ見る

竹原市 新潟 史子

心配の種三男は自由人  
渋々です漢字ドリルとにらめっこ

夏空を仰ぐストレス吹きとばせ

ジュニアの部

御蘭宇小三年 和泉 沙弥

かみさまはわるいことしたら見えます  
プールそうじおたまじゃくしがたくさんいた  
グリーンピースみんなでまめとると早い

忠海学園二年 江島 央

ザリガニのハサミにチョコキツとやられそう  
口チャックできるまほうをかけてみる

げんかんでだんごむしとにらめっこ  
うまいもんちよつとでころ満ちてくる

竹原市 小島 蘭幸

妻も私も金婚式を視野に置く  
川柳たけはら800号記念誌上川柳大会の応募は、  
6月20日現在、48名の方からいただきました。  
会員の皆さまのご応募をお待ちしています。

お知らせ

中央専門誌「月刊 川柳塔」の購読をお薦めします。

定価 一冊 八〇〇円 (+送料百円)  
半年分 五〇〇円 (送料共)  
一年分 九八〇〇円 (送料共)

令和五年六月三日(土)

六月句会

於：道の駅たけはら

出席者 輝恵 節夫 蘭幸 慶子 京子 比呂子  
 白狐  
 投句者 穂美 寿子 昭紀 栄香 敬子 宣之  
 和子 澄恵 団風 夢香 笑子 弘子 日出夫  
 千代美 節生 未希  
 月間賞 古田 比呂子  
 お誕生日おめでとうございます(六月生まれの方)  
 土井輝恵 向原道子 星野育子 大下規代  
 小塚未希

宿題「粘る」 栄谷白狐選

大勝負小兵力士の粘り腰  
 パン作り百回叩きいい粘り  
 老いの趣味こつこつこつと粘り腰  
 徳俵粘って肩から貴の花

敬子 弘子 和子 穂美

宿題「勇氣」 古谷節夫選

勇氣出し一步踏み出した出会い  
 アルコール今夜はやめるのも勇氣  
 脱マスクちよつと勇氣の街ぶらり  
 花活けて軽い勇氣をもち帰り  
 無事故でも勇氣をもって返納す  
 戦争を止める勇氣がない地球  
 勇氣とは勝利信じて耐えること  
 夢あれば明日へ生きて行く勇氣  
 戦争はイヤだと叫ぶのは勇氣

澄恵 白狐 千代美 笑子 団風 寿子 宣之 夢香 白狐

佳作  
 突き進む勇氣に優る退く勇氣  
 延命処置「ノー」の返事をする勇氣  
 イエスマンがノーを言うのに要る勇氣  
 九十も手術と聞いて勇氣出す  
 がけつぶち私の勇氣確かめる

夢香 比呂子 節生 寿子 輝恵 昭紀

地 位  
 監督に首を覚悟で物申す  
 無理するな休む勇氣もあると父

敬子 和子

天 位  
 ゴメンネを勇氣を出して言う二歳

鉛筆をころがし粘る再試験

何事も粘り勝ちして長女次女

人生は百歳目指し粘りたい

粘るのは得意でないが粘り勝ち

クレーンゲーム粘るとおまけしてくれた

老いてなお粘りを見せる人生論

妻そっぽ旦那が粘る詰め放題

我が人生足りないものは持久力

人生は粘りに粘れ九回裏

納豆のパワー欠かせぬ朝の膳

粘るから今の仕事はまだ続く

四十前粘って見つけた王子様

卒寿まで粘って生きてみようかな

舗装路のガムの粘りに負けた靴

煮つまってコイモが粘る鍋の底

粘る電話義母は実家に帰りたい

きつと明日へつながる粘りだと思ふ

舗装路の割れ目にタンポポの粘り

あきらめず核の無用を説く粘り

許すのも勇氣が要るぞ酌むお酒

G7空のドームへ献花する

真つ青な空に飛行機雲一本

ときには空悲しい色に見える梅雨

澄んだ空さわやか五月黄砂降る

航空祭アクロバットは限りない

図書館の空気が好きで指定席

いつも待つ空にはあなたしかいない

ひまわりを種子から育てている空だ

雨降る日照る日曇る日人の世は

青い空お一人様の布団干す

昭和にはまだまだまだ空は青かった

戦場の地球は嫌い青い空

ウクライナの空が晴れる日待つ地球

ウクライナ平和の空が遠くある

この空に国境線があるなんて

平和な空を飛ぶのが夢の千羽鶴

どこに居ても空は私を見ています

ゴールデンウィーク空へ感謝の小商い

夢香 笑子 宣之 節夫 蘭幸 節生 慶子 京子 比呂子 夢香  
 日出夫 団風 輝恵 和子 栄香 穂美 蘭幸 敬子

節生 澄恵 千代美 弘子 未希 輝恵 笑子 白狐 宣之 栄香 昭紀 節夫 慶子 日出夫 穂美 和子 日出夫 寿子

宿題「空」 小島蘭幸選

佳作

空き地には夢あふれてた昭和です  
星空へ私と妻と愛犬と  
ときどきは空を見上げる僕の詩  
人生に青空ばかり求めない  
大空へ両手をあげて脱マスク

京子  
団風  
白狐  
宣之  
敬子

オスブレイもうすぐ基地は密になる

夢香

桜散る空に天使がいるように

笑子

大自然シアター空はスクリーン

比呂子

空気読む五歳明日はまだ読めぬ

比呂子

特別課題「口」

さいたま市 星野育子選

だんだんと似て来る母の語り口  
パレードへ口約束が夢じゃない  
うっかりと乗ってはならぬ口車  
口尖らせて三歳の自己主張  
前を向きなさい口角上げなさい

栄香  
未希  
弘子  
慶子  
蘭幸

「口汚ですが」と隣から団子  
声を聴く色んな口のアンケート

輝恵  
日出夫

佳作

口ずさむテンション上げる朝の家事  
丁寧な説明総理の口達者  
言っちゃったゴメンと言えず夜が明ける  
「ありがとう」惜しまぬように口にする  
口コミの信頼性を問う社会

未希  
白狐  
穂美  
澄恵  
道子

口数も減り和やかな二輪草

弘子

口論に勝つてもふつとすきま風

夢香

五十年陽気に続く口喧嘩

和子

口籠る本音を吐くか飲み込むか

莊野地域交流センター川柳同好会五月句会

令和5年5月11日(木) 於：莊野地域交流センター

「参加者」美恵子 富美子 弘子 純子 寿美子  
千代美

「投句者」泰子 タズコ

宿題「緑」 國兼 千代美 選  
右左新芽の息吹呉道路  
新緑の空に悠々鯉泳ぐ  
可憐な花に見惚れ草取り手が止まる  
新緑を眺めて時を忘れてる  
メルヘンの小人のダンス森の中  
迫りくる杉の木見上げはしる筆  
新緑の葉裏にポツン雨蛙  
田園の景色ホツとする緑

富美子  
美恵子  
純子  
タズコ  
弘子  
泰子  
寿美子

会計だより (令和五年六月十五日)

寄付・寄贈 土井輝恵 元吉慶子 吉永団風  
会費 令和五年後期まで 古谷節夫

いつもご協力、ありがとうございます。  
暑中広告にも多数ご協力いただき、ありがとうございます。  
ます。七月十五日まで募集しておりますのでよろしく  
お願い致します。

会計 古田 比呂子

宿題「雑詠」 國兼 千代美 選  
宅配の牛乳飲んでいざ仕事  
マスク取る前にお顔のマッサージ  
五月晴れ今日も歩こう八千歩  
チュンチュンと同じ場所取る雀の子  
歳重ね薬も増えて喜寿の朝  
お茶を摘み旬の食卓露山椒  
よかつたよその一言に飛びあがる  
ちよつとだけよわい女になるメロン

タズコ  
純子  
美恵子  
寿美子  
富美子  
弘子  
泰子

暑中広告募集

※一頁三段十行 三〇口 一口 二千元  
※募集締切 七月十五日

◎会の運営資金となりますので、ご協力よろしくお願  
致します。